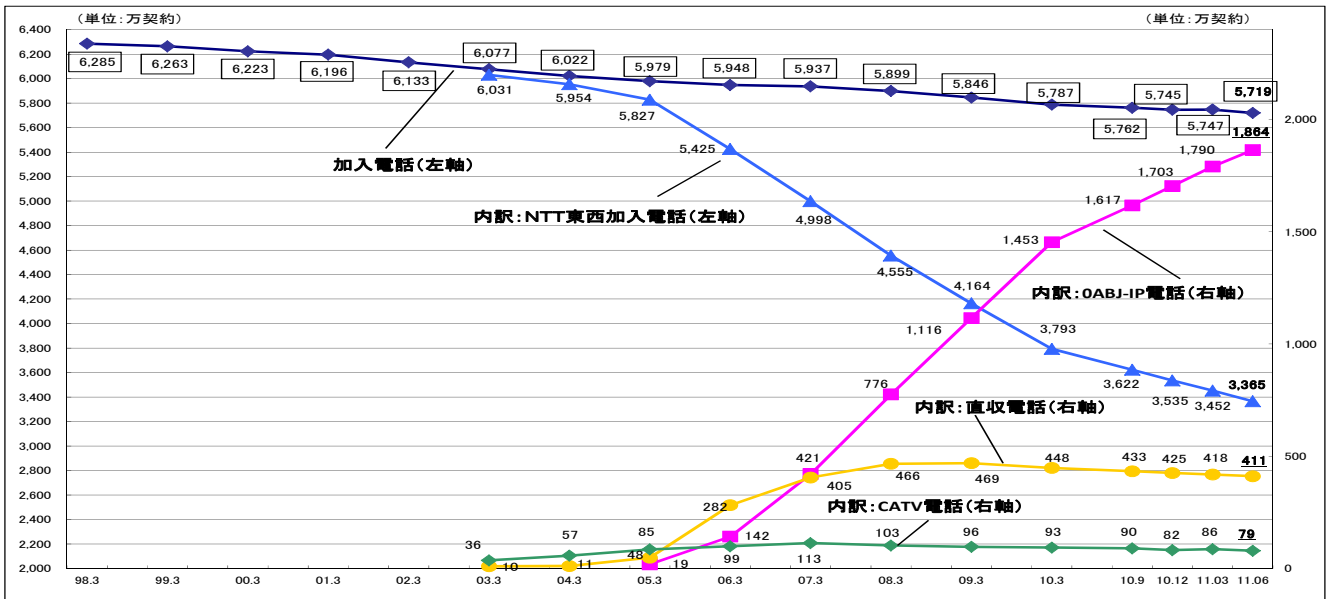


1 固定通信

(1) 加入電話

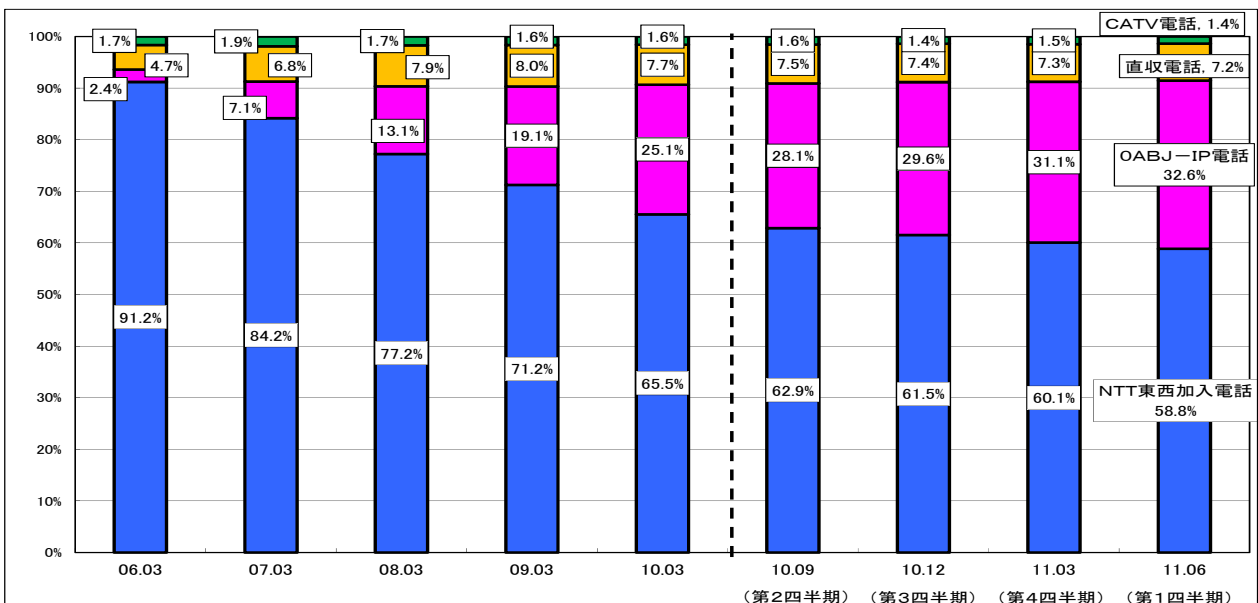
- 加入電話（NTT東西加入電話、直収電話、OABJ-IP電話及びCATV電話）全体の契約数は、11年6月末で5,719万（前期比0.5%減）と減少傾向となっている。このうち、NTT東西加入電話は3,365万（前期比2.5%減）と減少が続く一方、OABJ-IP電話は1,864万（前期比4.1%増）と増加が続いている。
- 加入電話契約数全体に占めるNTT東西のシェア（NTT東西加入電話とOABJ-IP電話の合計）は、80.5%（前期比0.4ポイント減）と減少が続いている。

加入電話の契約数の推移



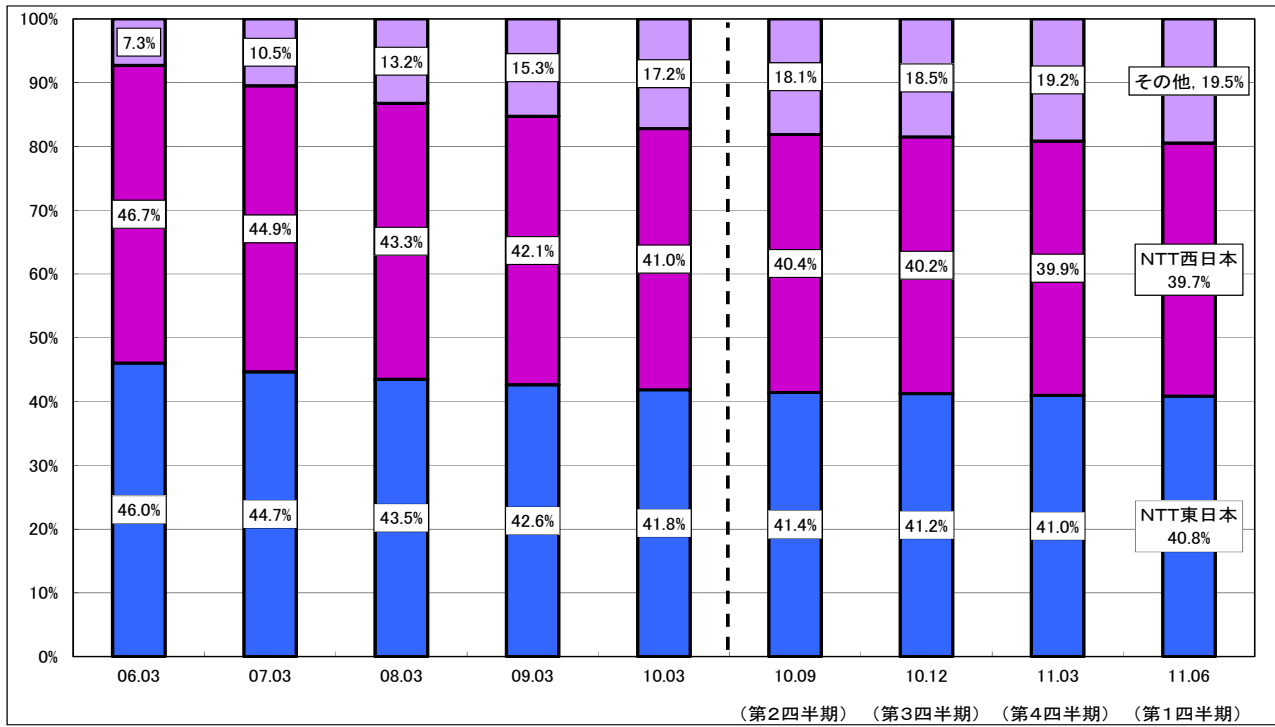
注1：加入電話とは、NTT東西加入電話（ISDNを含む）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話、CATV電話をいう。
 注2：OABJ-IP電話は、利用番号数をもって契約数とみなしている。
 ※ なお、OABJ-IP電話はNTT加入電話等との代替性が高いため加入電話に加えたが、IP電話としてもP.3以降に再掲している。
 注3：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

加入電話サービスのシェアの推移



注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

加入電話の契約数に占めるNTT東西のシェアの推移



注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む）、0ABJ-I P電話の合計を示す。

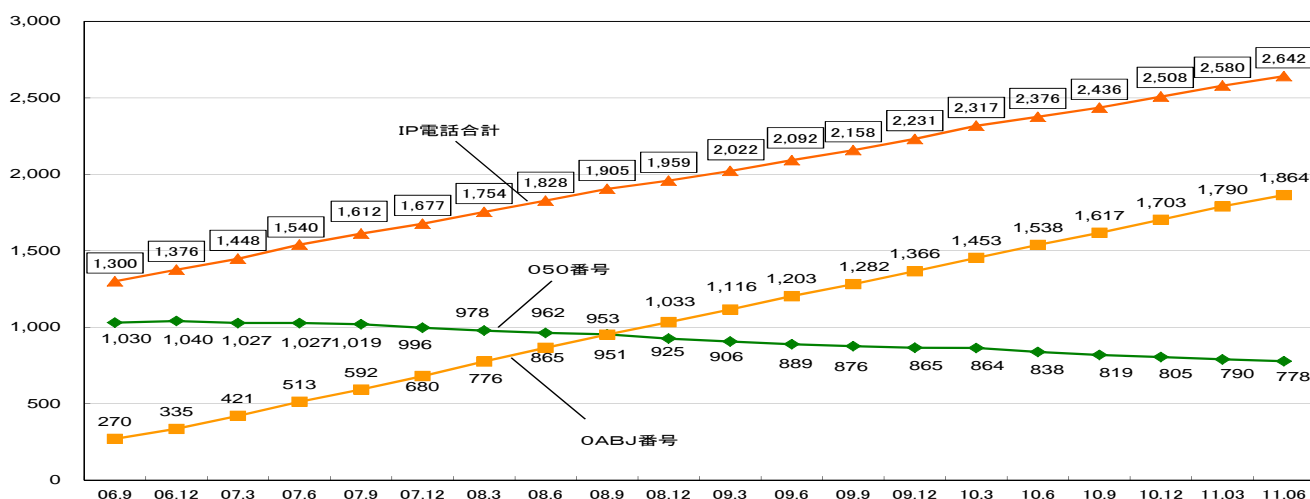
注2：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(2) IP電話

- IP電話の利用番号数は、11年6月末で2,642万（前期比2.4%増）と増加が続いている。このうち、OABJ番号の利用数は1,864万（前期比4.1%増）と増加が続く一方、O50番号の利用数は、778万（前期比1.5%減）と減少が続いている。
- OABJ番号におけるNTT東西のシェアは、66.5%（前期比0.2ポイント減）と減少を続けているのに対し、KDDIが16.7%（前期比0.6ポイント増）と増加が続いている。
- O50番号におけるシェアは、シェア1位のソフトバンクBBが41.1%（前期比0.7ポイント減）と減少が続いているのに対し、2位のNTTコミュニケーションズが37.9%（前期比0.6ポイント増）と増加が続いている。

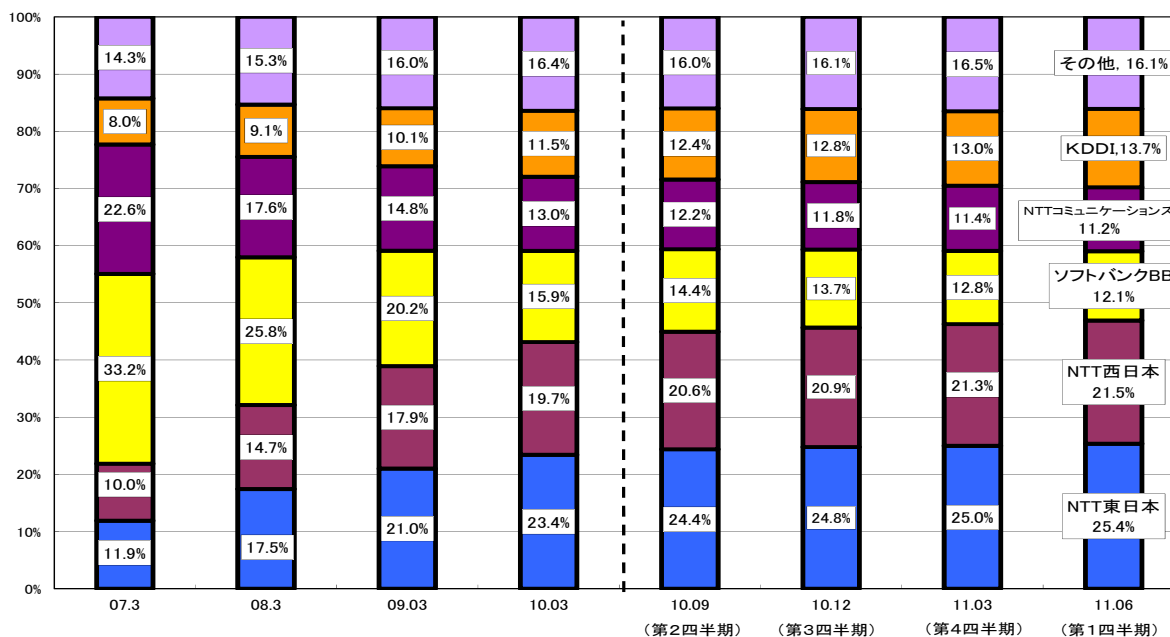
IP電話の利用番号数の推移

（単位：万番号）



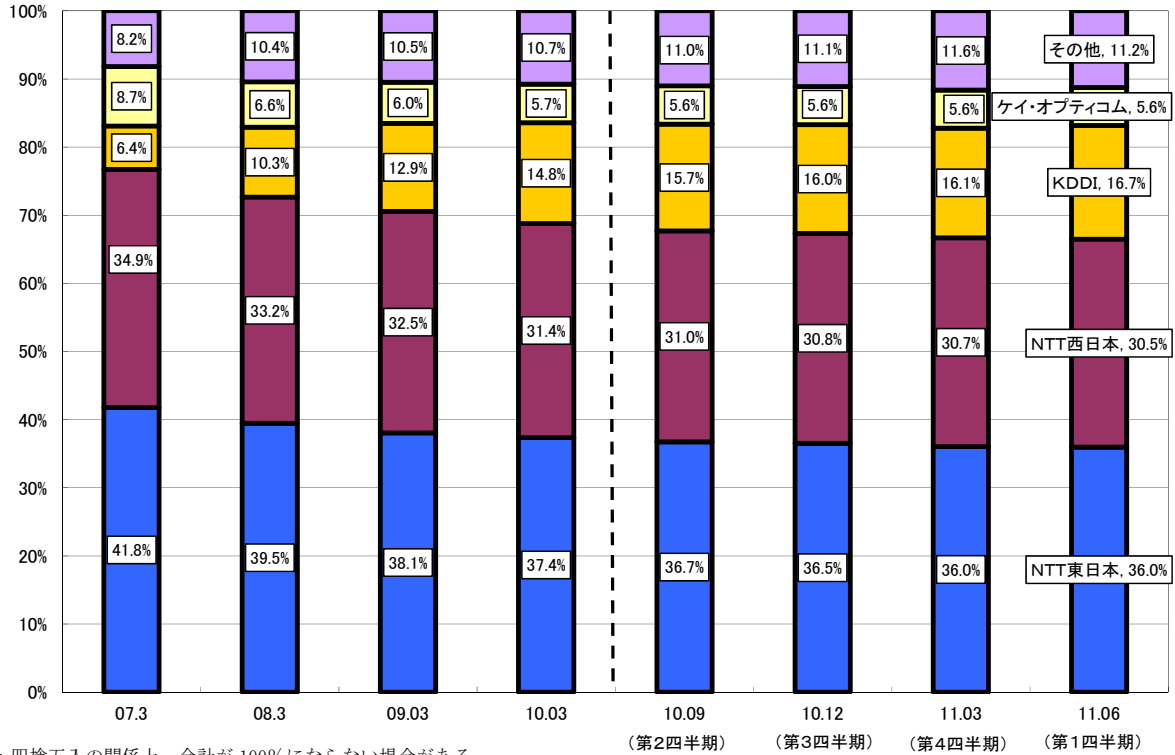
注：各利用番号数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（全体）



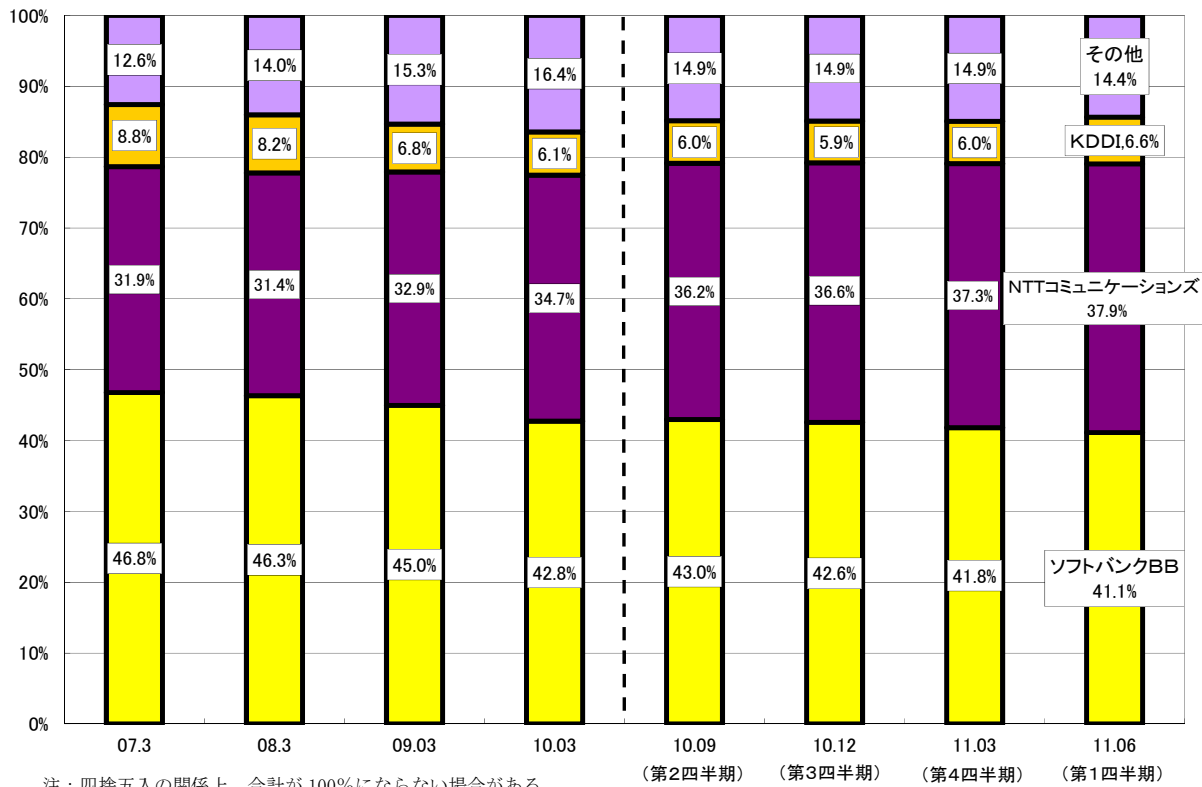
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（0ABJ番号）



注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移（050番号）



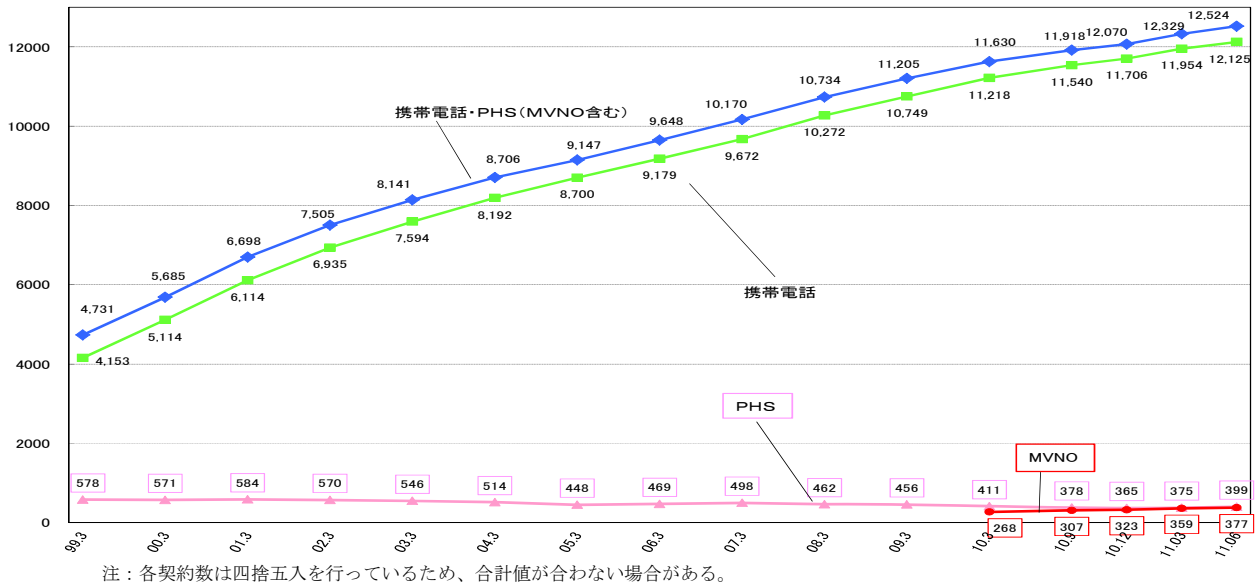
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

2 移動体通信

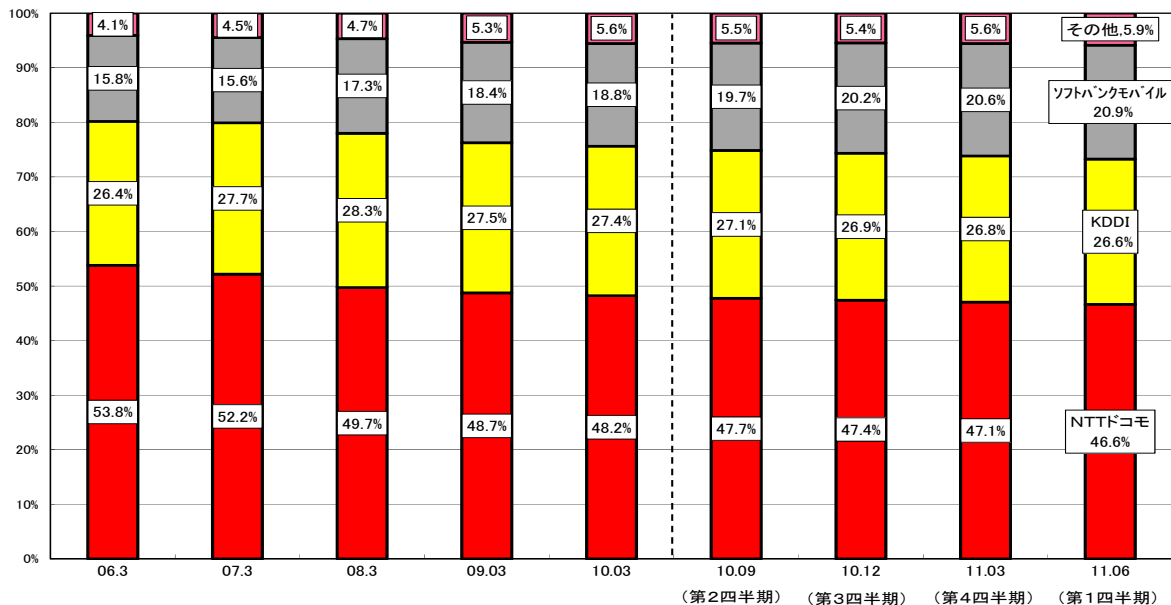
- 携帯電話・PHSの契約数（MVNO含む。）は11年6月末で1億2,524万（前期比1.6%増）と増加が続いている。携帯電話が1億2,125万（前期比1.4%増）と増加が続いている。また、PHSは399万（前期比6.4%増）と前期に引き続き増加している。
- 携帯電話・PHS契約数におけるNTTドコモのシェアは46.6%（前期比0.5ポイント減）と減少を続けており、KDDIのシェアは26.6%（前期比0.2ポイント減）とおおむね横ばいとなっているのに対し、ソフトバンクモバイルのシェアは20.9%（前期比0.3ポイント増）と増加が続いている。
- なお、MVNO契約数については、11年6月末で377万加入（携帯電話・PHSの契約数の内数）となっている。

携帯電話・PHSの契約数の推移

（単位：万契約）



携帯電話・PHS契約数の事業者別シェアの推移



注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

注2：08年3月末までのNTTドコモにはPHS契約数が含まれている。

注3：ツーカーグループは05年10月1日にKDDI（au）と合併している。

注4：ソフトバンクモバイルについては06年9月末までは旧ボーダフォンの契約数となっている。

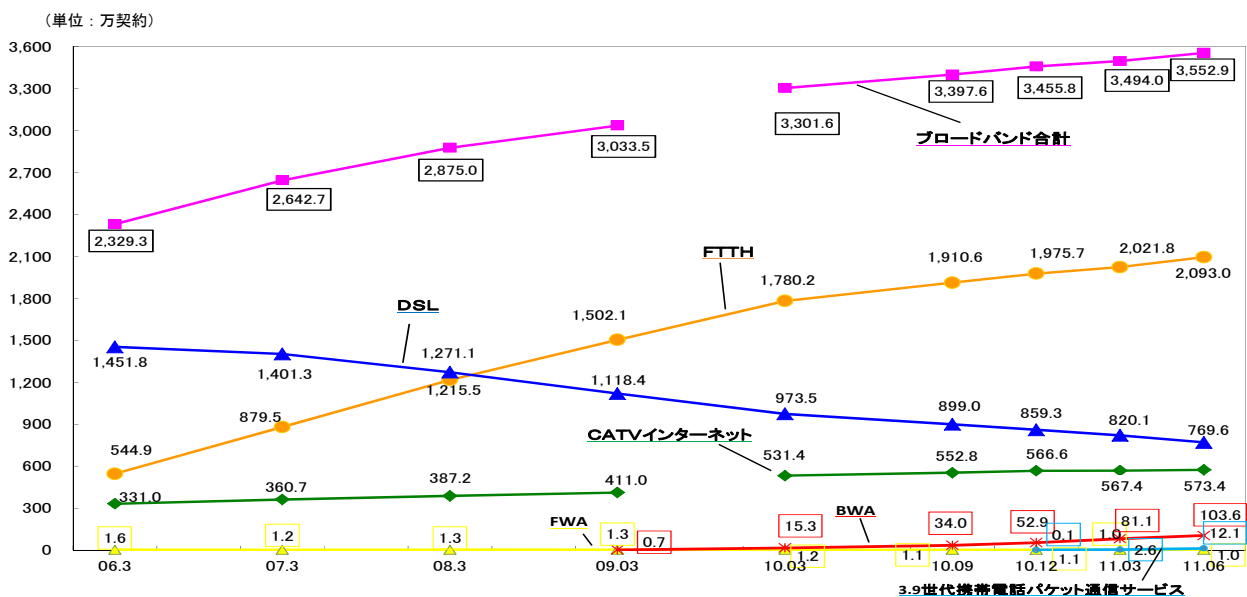
（社団法人電気通信事業者協会資料）

3 インターネット接続

(1) ブロードバンド全体

- ブロードバンドサービスの契約数は11年6月末で3,552.9万（前期比1.7%増）となり、増加が続いている。
- 3.9世代携帯電話パケット通信サービスの契約数は、12.1万（前期比約4.7倍）と大幅に増加している。
- BWAの契約数は、103.6万（前期比27.7%増）と大幅に増加している。
- ブロードバンド契約数におけるNTT東西のシェアは、53.0%（前期比0.5ポイント増）と増加している。

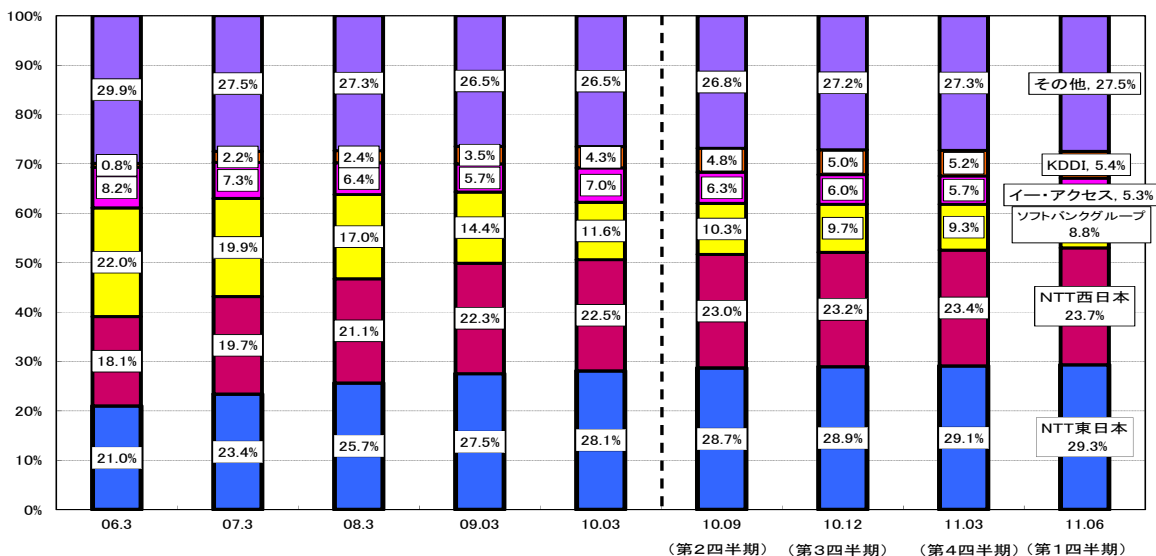
ブロードバンド契約数の推移



※ 一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末のブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

注：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

ブロードバンド契約数の事業者別シェアの推移



注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

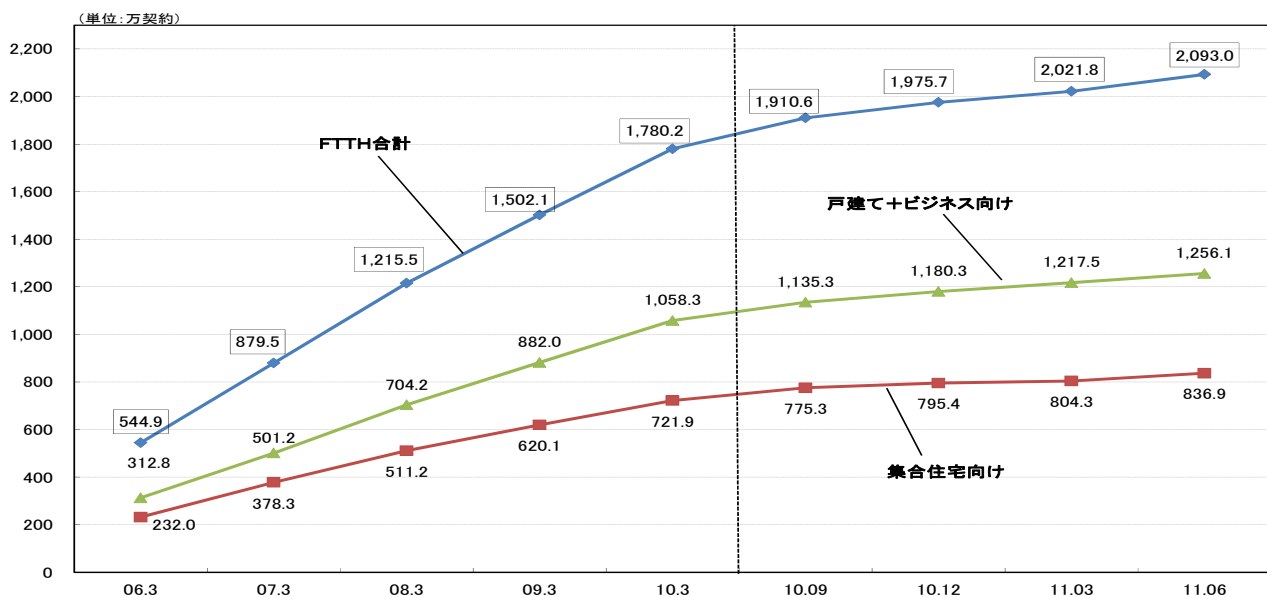
注2：09年6月にイー・アクセスがアッカ・ネットワークスを合併したことに伴い、09年第1四半期より、アッカ・ネットワークスはイー・アクセスに含める。以下同じ。

注3：このブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービス、BWAアクセスサービス及び3.9世代携帯電話端末パケット通信サービスを含んでいない。

(2) FTTH (光ファイバ)

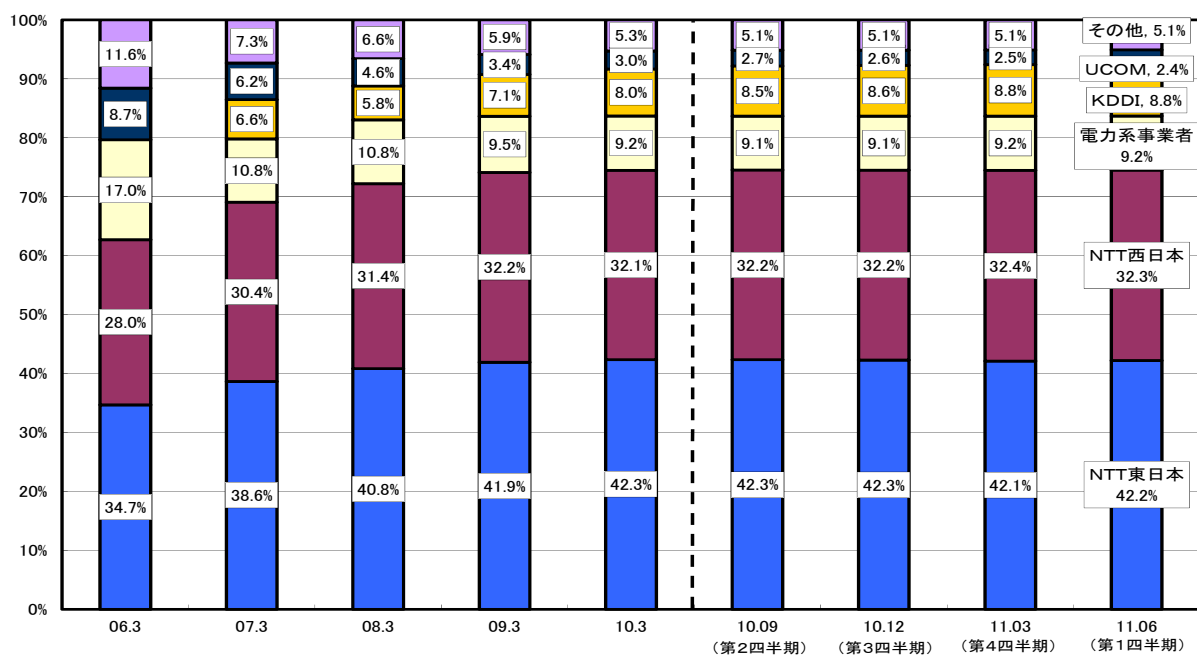
- FTTHの契約数は11年6月末で2,093.0万(前期比3.5%増)と増加が続いている。
- 全体のシェアについては、NTT東西、電力系事業者及びKDDIのシェアは、横ばい(NTT東西 74.5%、電力系事業者 9.2%、KDDI 8.8% (いずれも前期比±0))となっている。
- NTT東西のシェアについては、「戸建て+ビジネス向け」は76.3%(前期比0.4ポイント減)と減少し、「集合住宅向け」は71.7%(前期比0.5ポイント増)と増加している。

FTTH契約数の推移



注:各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

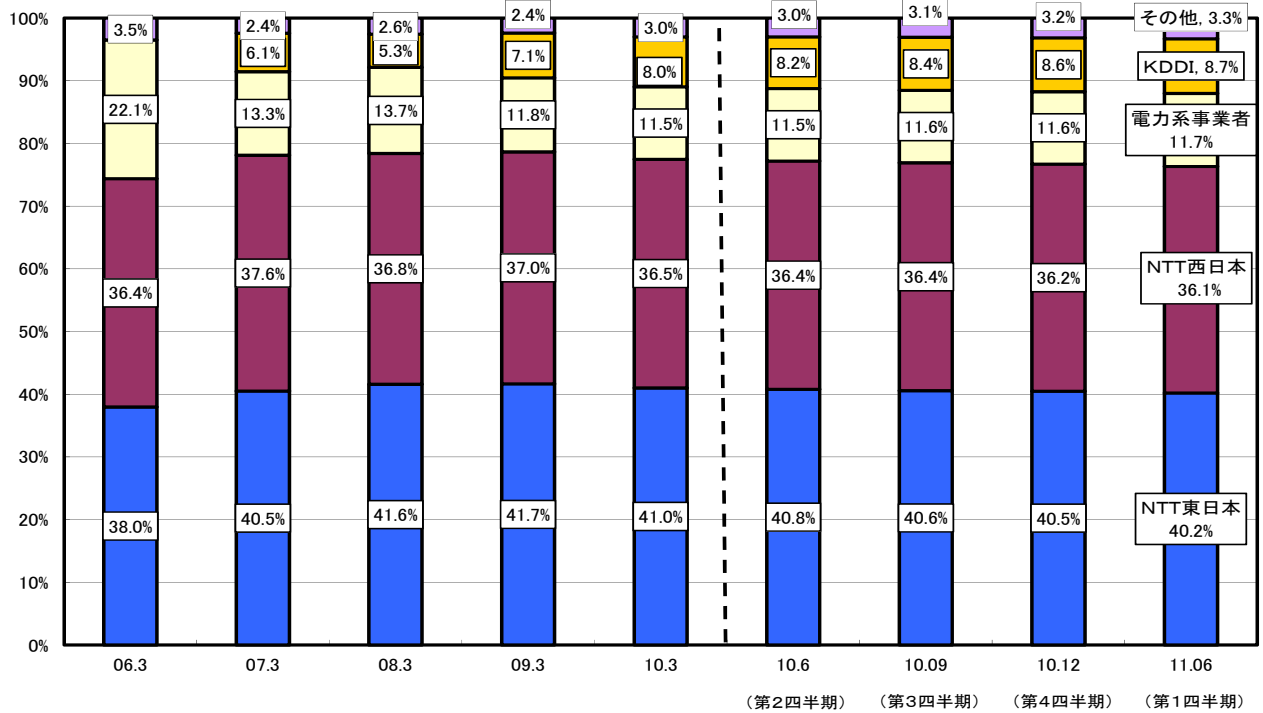
FTTH契約数の事業者別シェアの推移(全体)



注1:中部テレコミュニケーションは、08年4月の株式の一部譲渡により、KDDIに含める。以下同じ。

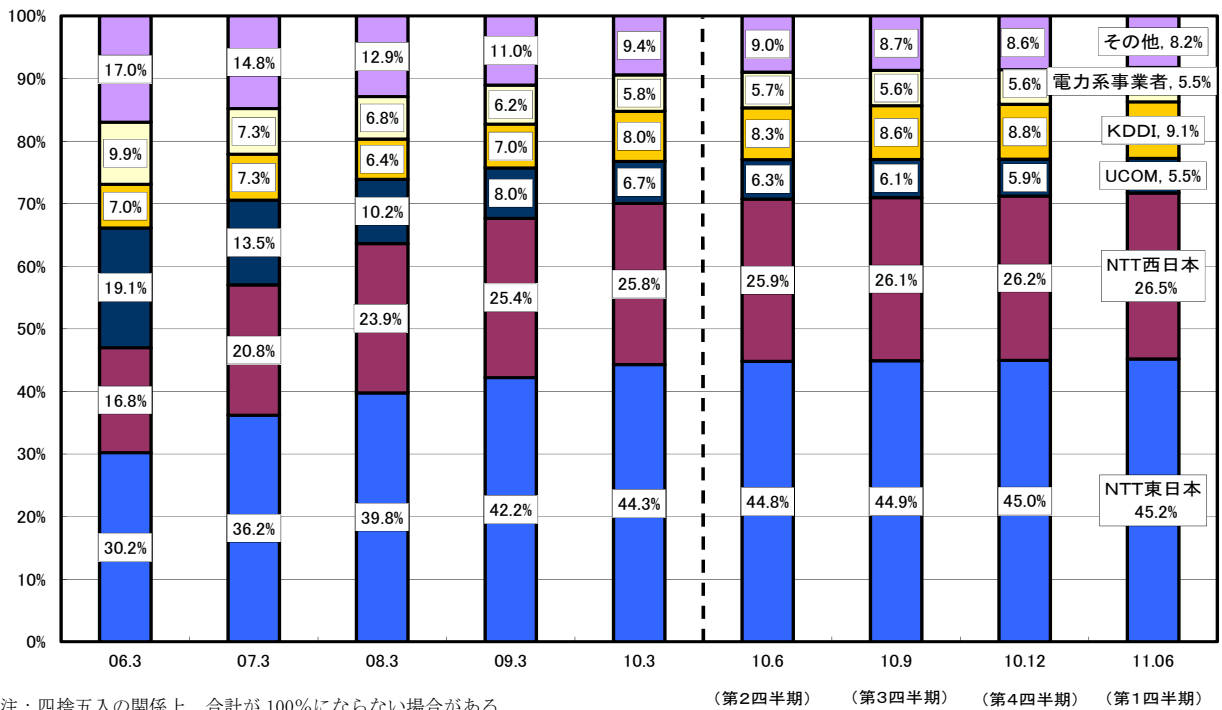
注2:四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（戸建て+ビジネス向け）



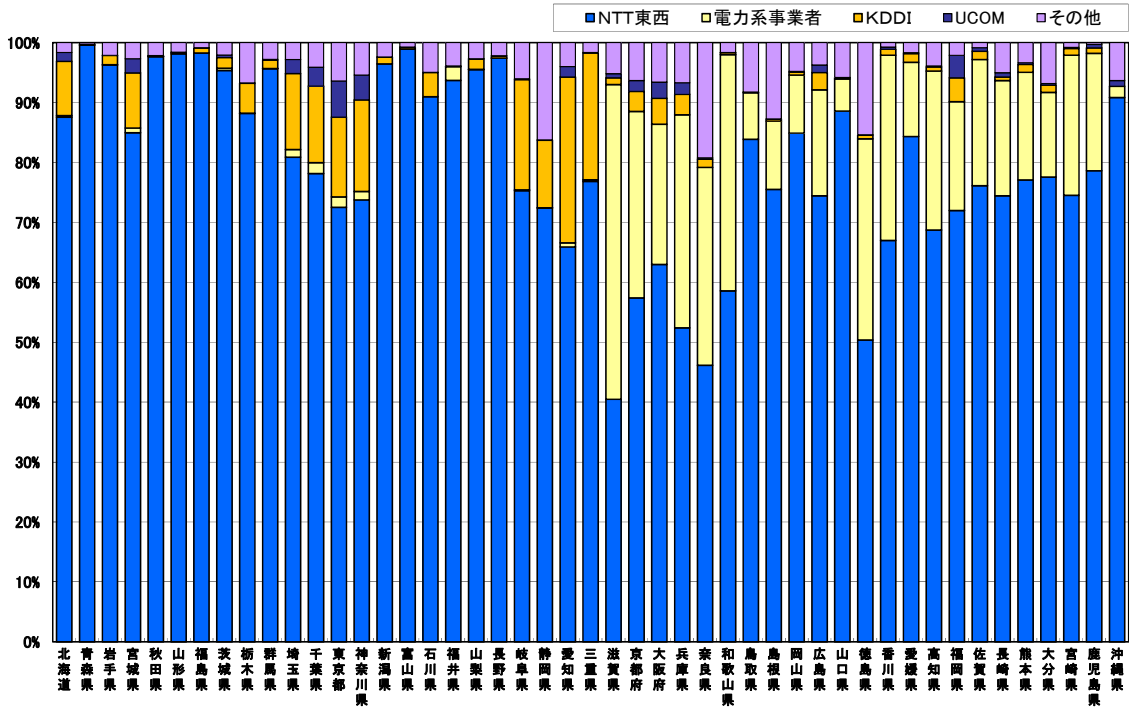
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

F T T H契約数の事業者別シェアの推移（集合住宅向け）



注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

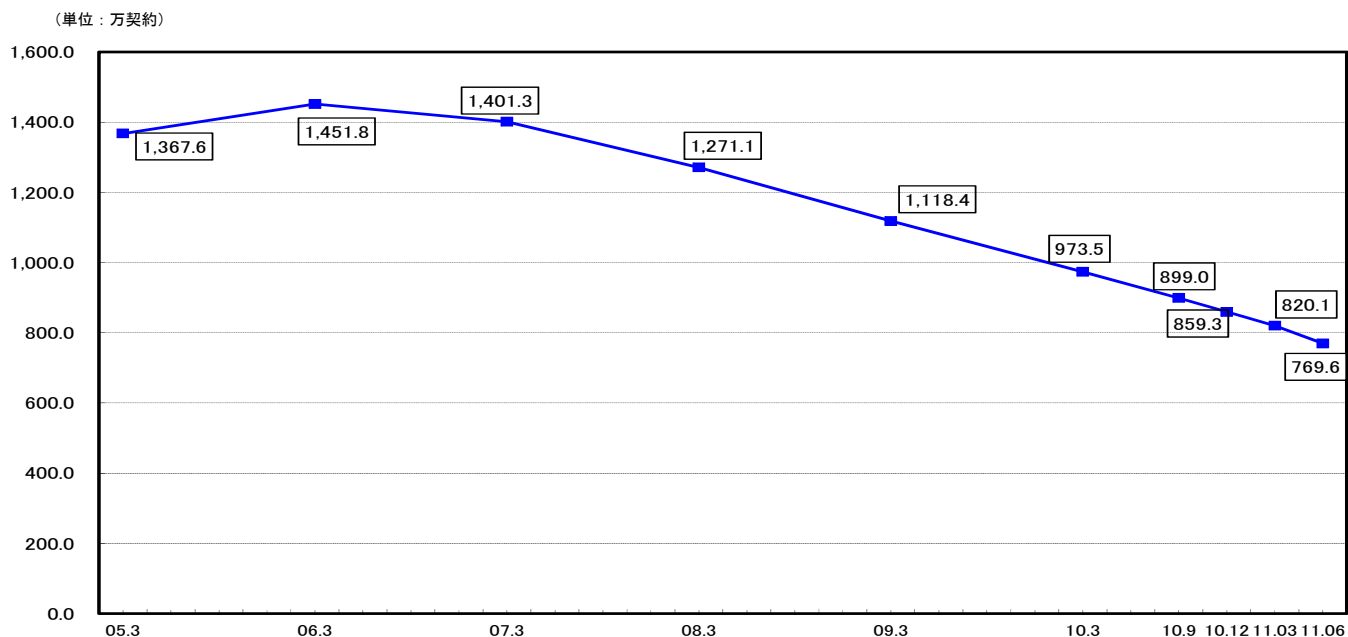
F T T H全体の契約数の都道府県別事業者シェア（11年6月末）



(3) DSL

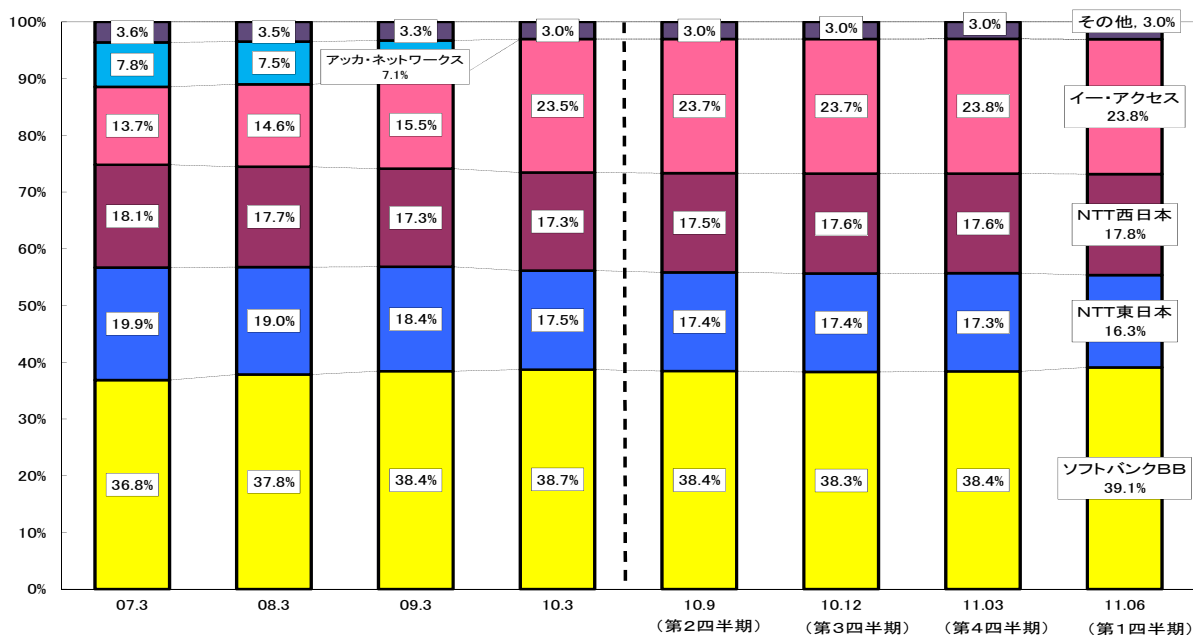
- DSLの契約数は11年6月末で769.6万（前期比6.2%減）となり、減少が続いている。
- シェアについては、シェア1位のソフトバンクBBが39.1%（前期比0.7ポイント増）と増加している一方で、シェア2位のNTT東西が34.1%（前期比0.8ポイント減）と減少している。

DSL契約数の推移



注：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。

DSL契約数の事業者別シェアの推移（全国）



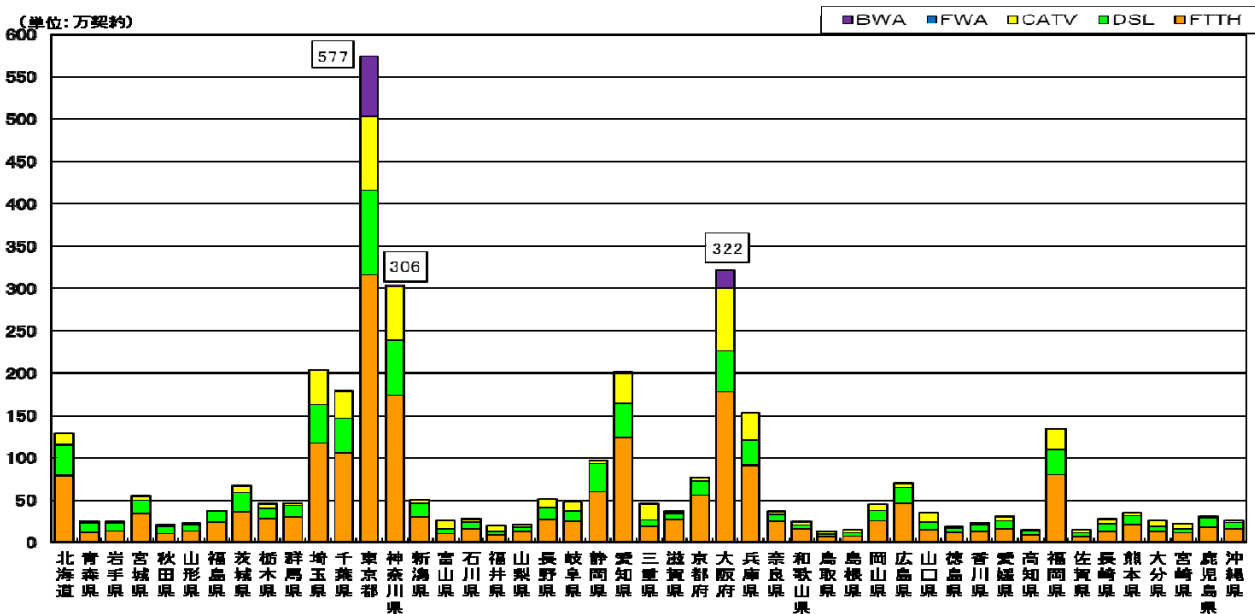
注：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) ブロードバンドサービスの都道府県別契約数

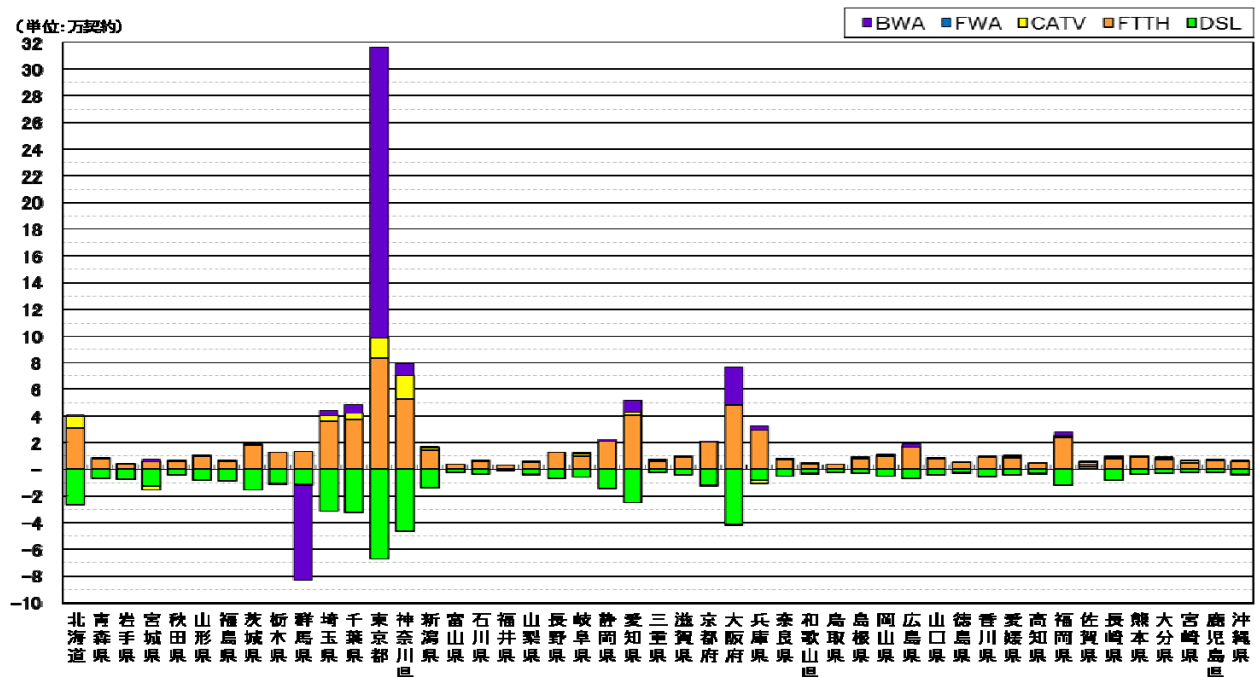
- FTTHの契約数は全ての都道府県で増加し、DSLの契約数は佐賀県を除く46都道府県で減少している。また、東京都、大阪府では、BWAの契約数の増加が目立つ。
- 三重県を除く46都道府県ではFTTHの割合が最も高い割合を示している。また、三重県では、CATVが最も高い割合を占めている。

※ BWAアクセスサービスについて、一部事業者で集計方法に変更が生じています。

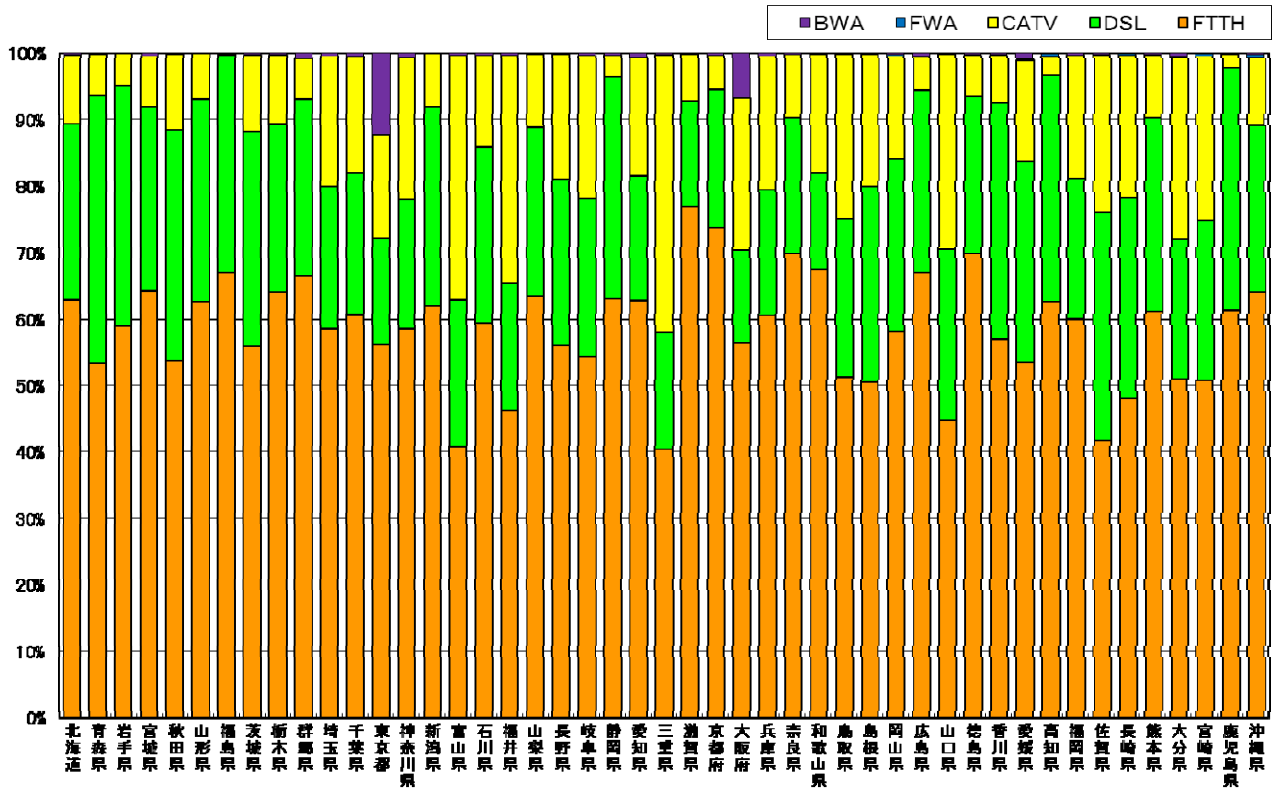
ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数



各ブロードバンドサービスの都道府県別の純増減数（対前期比）



都道府県別のブロードバンドサービスの比率



各ブロードバンドサービスの都道府県別提供事業者数

(単位:社)

